

事務事業名	コード1	41900	いいおかユートピアセンター活動費	課	生涯学習課		
	コード2		41800(いいおかユートピアセンター管理費含む) ☐ 主要事業	所属班	社会教育施設班		
施策体系	基本方針	4	心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり	電話番号	57-6060	内線	-
	施策	5	生涯学習の充実	予算科目	会計		款 項 目
	施策の展開	4	生涯学習講座の充実・人材育成	根拠法令	いいおかユートピアセンターの設置及び管理に関する条例・同条例施行規則		
	基本事業	243	生涯学習講座の開催				

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 2 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	各種講座・教室・主催事業の開催、一般・定期利用団体の使用申請の受付や許可、図書の貸出しや管理、旧町史や文化振興事業の入場券の販売、施設の維持管理など。 【開館時間】9時～17時。但し、夜間利用がある場合は21時まで開館。【閉館日】月曜、祝日、年末年始 【館内施設】会議室 2、研修室 1、和室 1、栄養指導室 1、大ホール(1,000人収用) 1、図書室 1、陶芸室 1 【業務の流れ】 ・施設の維持管理 通年 ・講座や主催事業：次年度開催予定の検討(10月頃)→講師及び講座内容の検討→公民館運営審議会で事業内容の審議→開催要項等の作成→受講生募集(新年度4月)→講座等の開催(5月以降) ・貸館業務 ・図書貸出等

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績)	単位:千円
1. 臨時雇賃金	1,894(2名 6,400円×14日×12月 通勤手当)
2. 委託料	5,601(シルバー人材夜間受付、清掃、浄化槽点検、警備保障)
3. 光熱水費	4,404
4. 報奨金	1,193(講師15名44回分)
5. その他	4,026(使用料、賃借料、修繕工事費)
【前年度比増減理由】エレベーター保守の実施、電気代の上昇【歳入】使用料675千円	
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績)	単位:時間
①施設の維持管理 415時間	②講座・主催事業 400時間
③貸館事業 1,000時間	④図書貸出等 200時間)×2名

事業費	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
1. 臨時雇賃金	千円	1,580	1,894	1,894	2,252
2. 委託料	千円	5,331	5,574	5,601	5,950
3. 光熱水費	千円	4,048	3,980	4,404	4,440
4. 報奨金	千円	1,082	1,209	1,193	1,237
5. その他	千円	3,622	3,451	4,026	4,077
事業費計(A)	千円	15,663	16,108	17,118	17,956
うち一般財源	千円	15,412	15,531	16,443	17,536
正職員員従事人数	人	2.00	2.00	2.00	2.00
延べ業務時間	時間	4,030	4,030	4,030	4,030
人件費計(B)	千円	15,314	15,314	15,314	15,314
トータルコスト(A)+(B)	千円	30,977	31,422	32,432	33,270

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・貸館業務、図書貸し出し ・主催事業2事業 ・主催教室14事業 26年度計画(26年度に計画している主な活動) ・貸館業務、図書貸し出し ・主催事業2事業 ・主催教室14事業	ア 講座数	講座	15	14	14	14
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	イ 主催事業数	教室	2	3	2	2
	・市民 ・地域住民(飯岡地区)	ウ					
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	・教養の向上や健康の増進につながるような講座を開催することにより、市民が健康でいきいきと、心豊かな生活を送れるようにする。 ・利用者が安全、快適に施設を利用できる。	ア 講座・主催事業参加者(実人数) 講座・主催事業参加者(延べ人数)	人	450 2,708	822 2,575	485 2,397	420 2,500
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	イ 延べ利用者数(講座・主催事業参加者、貸館・図書館利用者延べ人数)	人	31,122	36,660	46,841	40,000
	講座等で知り合った仲間や、同じ趣味や嗜好を持った仲間達で、サークルや団体を作り、独自に活動できるようにする。	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
		ア いいおかユートピアセンターを当該年度に利用しているサークル(講座卒業者によって構成されるサークル)数	団体	18	17	20	20
		イ					

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・市民が、生きがいを見つけ、充実した生活が送れるようにするため、平成元年に施設を設置し、翌2年度から事業を開始。	・講座からサークルに移行して自立する団体が出てきた。 ・民間でも同様な教室(カルチャーセンター)があって新鮮味が薄れてきている。	・施設利用者からは「講座がマンネリ化している。新しいものを取り入れてほしい。」との意見・要望がある。

事務事業名	いいおかユートピアセンター活動費 41800(いいおかユートピアセンター管理費含む)	課名	生涯学習課	班名	社会教育施設班
-------	---	----	-------	----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	講座の卒業生がサークルを運営、参加していることから、生涯学習講座の積極的な開催、内容の充実は市民の自主的な活動の促進に繋がっている。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	生涯学習の対象者は全市民を対象としているため、適切と考える。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	市で行っている講座の内容によっては、民間のカルチャーセンター等でも行っている。しかし、市が主催する講座であれば、気軽に参加でき、継続してサークルに入ることも可能で高齢者も参加しやすいため、市が事業を行うことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】	講座に複数回参加する方はサークルへの移行を促したり、初心者受付を優先し始めているが、企画した講座に毎回同じ人が受講することが多く、地域的にも偏りがある。また、趣味的講座が多く、多様なライフスタイルに対応した学習講座が作れていない。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】	自主活動できるグループや人材を育成できるよう講座内容や教室運営の方法を工夫することにより、講座数を増やさなくても成果は得られる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(海上公民館活動費、干潟公民館活動費、その他社会教育施設) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☒ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	同じ内容の講座であれば、他施設の講座を紹介している。(居住地や交通の利便等を考慮)
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 (表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	平成26年10月からの使用料の徴収によって利用者数に応じた施設利用となり、結果として電気代が削減される可能性がある。また、他公民館と一括してエレベーターの保守点検委託契約を行うなどで削減の可能性がある。
	⑧ 人件費の削減余地 (表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	・施設の維持管理については最低限の水準で行っているが、臨時職員等の活用により施設の運営が可能と思われる。しかし、臨時職員等では、市民のニーズた地域課題等に対応した事業が出来ない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	・広く市民に開放しており公平である。 ・平成26年10月から施設利用者から使用料・手数料条例を見直し、減免要綱を策定して使用料を徴収していくため、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	☐ 見直し余地あり	市民が健康でいきいきと、心豊かな生活を送れるようにする施設として全般的に満足度が高い施設であるが、市主催事業・講座をきっかけとしてサークル活動に移行できるよう人材育成等の工夫や、多様なライフスタイルに対応した学習講座が必要である。また、委託費の見直しや臨時職員の活用等を検討し、一層の効率化に努める。
② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	☒ 見直し余地あり	
③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	☒ 見直し余地あり	
④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可)		※2～3年後を目処にした方向性		(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
☒ 目的再設定	☐ 行政関与の見直し																								
☒ 事業のやり方改善による成果向上	☐ 事業統廃合・連携(関連事業：)																								
☒ 事業のやり方改善による事業費削減	☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減																								
☐ 受益機会の適正化	☐ 費用負担の適正化			<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持		増加																				
成果	向上	○																							
	維持																								
	低下																								
(2)改革改善案について		※いつまでに、なにを、どうするのか？																							
いつまでに	なにを、どうするのか？																								
①平成26年10月	①自主活動できるグループや人材を育成する講座内容や教室運営方法及び、多様																								
②平成26年10月	なライフスタイルに対応した学習講座の検討 ②委託費の見直しや臨時職員の活用等の検討																								
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
①他公民館との協議・調整																									
②他公民館との協議・調整、業務にマッチした臨時職員等の確保																									